



みんな再生！広島湾

～広島湾再生の活動体験&ミーティング～

<第2回 開催報告>

1. 開催の目的

広島湾再生推進会議は、関係省庁や自治体などが連携して、海の再生を推進する「全国海の再生プロジェクト」の一環として設立され、広島湾の良好な環境の再生を目指し、行政や地域住民が連携して環境保全・再生に関する取り組みを総合的に推進することを目的とした「広島湾再生行動計画」を平成19年3月に策定しています。

今年度は「みんな再生！広島湾～広島湾再生の活動体験&ミーティング～」と題し、2回に分けて市民参加型イベントを開催することとなり（第1回は平成25年10月20日（日）に開催済）、**第2回は、広島湾再生のための森・川・海の取り組みを知る見学会を行った後、森・川・海の繋がりの大切さを広めていくことについて話し合うことを目的に、平成25年11月16日（土）に開催しました。**

2. 開催概要

開催日：平成25年11月16日（土）10:00～17:00

会場：広島港宇品旅客ターミナル2階 イベントホール

プログラム

○開会・オリエンテーション

趣旨説明、広島湾再生行動計画の概要
森・川・海の繋がりについて

○見学会（バスで移動）

①広島市森林公園 林業体験広場 （広島市東区）

・広島市森林公園の職員より、自然体験活動の紹介・公園内の山歩きコースを案内。

②太田川における石炭灰造粒物を使った底質改善箇所 （旧太田川 空鞆橋下流）

・太田川河川事務所の職員より、底質改善事業の内容・効果について解説。

③広島市西部水資源再生センター （広島市西区）

・センター職員より、下水処理の仕組みの解説及び、センター内の浄化施設を案内。

○グループミーティング

・各班にわかれ、見学会の感想・意見、森・川・海の繋がりの大切さを広めていくことについて話し合いを実施。

○発表

・各班の代表者によるとりまとめ結果の発表。



広島市森林公園
（林業体験広場）



太田川における底質改善箇所

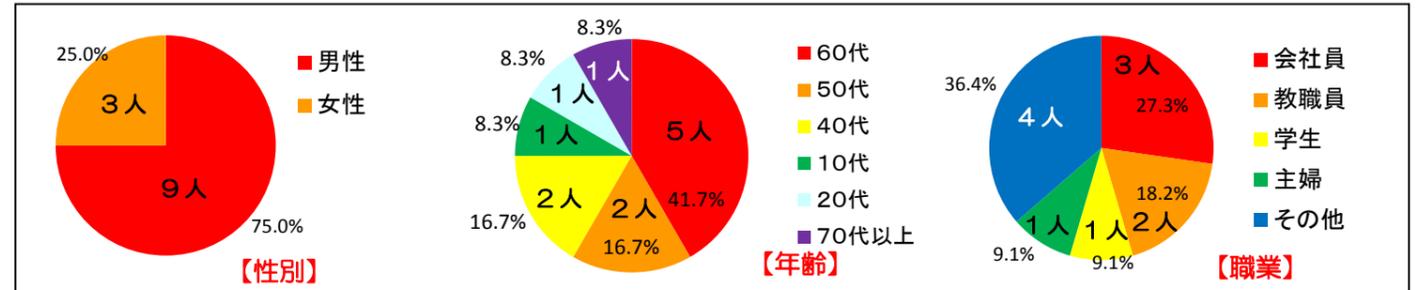


広島市西部水資源
再生センター

見学会の実施場所

3. 参加者

第2回イベントには、**12名（男性9名、女性3名）**の方にご参加いただきました。年齢層は、50～60代の方が約半数、職業は会社員と教職員の方が約半数ですが、その他様々な立場、年齢層の方にご参加いただきました。



4. 開催結果

4-1. 見学会① 広島市森林公園

まず最初に、広島市森林公園に到着後、職員の方から林業体験広場にある「森の学校」において、主に広島市域や近郊の小学校、幼稚園などを対象として行っている自然体験活動についてご紹介いただきました。

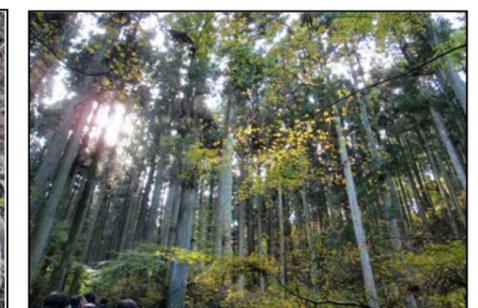
森林体験活動は、森林公園内にある約400haの森林をフィールドとして、子どもたちが森林に親しめるような実体験メニューを、ボランティアの方々と協力して実施していること、小学校などは、総合学習の時間を利用してこれらの活動に参加していることなどを解説いただきました。その後、林業体験広場近くの森林を散策しながら、自然体験活動メニュー（グリーンアドベンチャー）や森林の手入れの状況などをご紹介いただきました。



林業体験広場（森の学校）での自然体験活動の取り組み紹介



森を散策と森林保全の取り組み解説

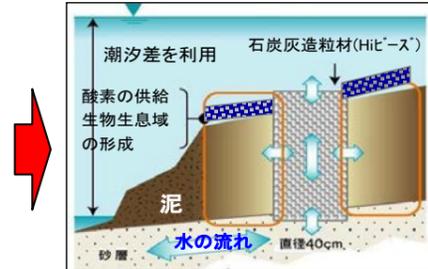


間伐や下草刈りなどにより整備された森林の状況

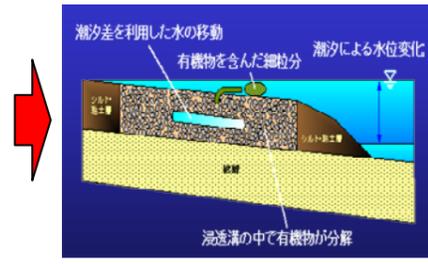
4-2. 見学会② 太田川における石炭灰造粒物を使った底質改善箇所

次に、太田川河川事務所の職員の方にご案内いただきながら、太田川の空鞆橋下流左岸側で行っている石炭灰造粒物を使った底質改善箇所の見学を行いました。

太田川は水質が良好ですが、河床へ堆積している有機泥の改善が課題となっています。そこで、生物生息環境の改善とともに、水辺に親しめるような干潟への改善を目指して、透水性が高く有機泥の改善効果も期待できるリサイクル材料の「石炭灰造粒物」を有機泥内に設置することで、有機物の分解促進や生物生息環境の改善効果が見られたことなどを解説いただきました。



石炭灰造粒物を使った底質改善状況（浸透柱方式）



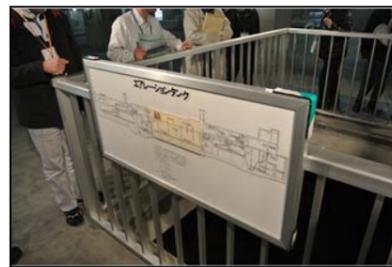
石炭灰造粒物を使った底質改善状況（浸透溝方式）

太田川河川事務所による解説

4-3. 見学会③ 広島市西部水資源再生センター

広島市西部水資源再生センターの職員の方にご案内いただきながら、汚水処理施設の見学を行い、汚水がきれいになるまでのプロセスについて解説いただきました。

また、センター内には燃料化施設も設置されており、汚水処理の過程で発生するガスをエネルギーとして活用したり、下水汚泥から生成した炭化燃料を販売するなど、再生可能エネルギーの創出を行っていることなども解説いただきました。



最初沈殿池、活性汚泥処理、最終沈殿池などの浄化施設の見学



処理水のサンプルを使いながら、汚水が処理されてきれいになっていくプロセスを解説

4-4. グループミーティングおよび発表

見学会の後は、各班ごとに、①本日の見学会の感想や意見、②森・川・海の繋がりの大切さをひろめていくには？ の2つをテーマとして、グループミーティングを行いました。

話し合った結果は、最後に各班の代表者より発表していただきました。



参加者による話し合いの様子

とりまとめ結果の発表の様子

グループミーティングの結果

（見学会の感想や意見）

- 水がきれいになりすぎたら生き物がいなくなることもわかった。
- 1日の中で森・川・海を回れたので中身の濃い勉強ができた。
- 次回は細い木を切る体験をぜひ入れて欲しい。
- 山から出た栄養塩が海に着くまでにダムで溜まっているのでは？（次回はダム見学も入れてはどうか？）
- 森・川・海それぞれの場所での専門的な話しかなかったので、今後は森・川・海を繋げるような説明が必要。

（森・川・海の繋がりの大切さを広めていく、広まていくには？）

- 民間企業やカキ業者、森林関係者、川の魚やシジミを捕る方を巻き込むことが、意識の高い環境づくりに繋がる。
- 「森・川・海の繋がり」だけではなく、こういうイベントに「参加した人たちを繋げていく」ことが重要。
- 次のイベントでは参加者が友達を1人連れてくる。→ロコミで別のメンバーを誘う仕組みづくりが必要。
- 親の心配や偏見を無くし、子どもがこのようなイベントに参加できるように、安全管理面での協力体制づくりが必要。
- 森・川・海の繋がりを広めていくには、学校での教育（小学校は様々な活動をしているので、特に中学・高校生に対する教育）が必要。
- 子どもだけではなく、大人も含めて楽しみながら教育することが必要。
- もっとこのような機会を増やすとともに、学校へPRするなど、教育機関を活用し広めていく。
- ナルトビエイなどの食害生物を食べる「食の祭典」イベントを実施する。
- 「カニ」などの生物をターゲットにして、森・川・海の繋がりを学んではどうか？

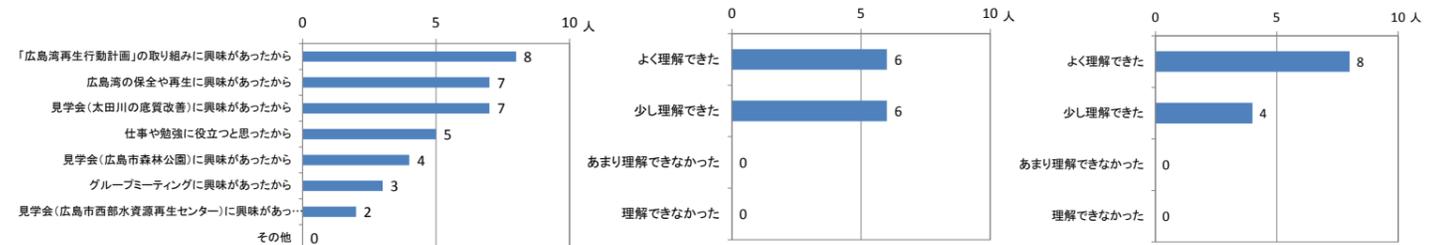


グループミーティング結果のとりまとめの例

※参加者は3つの班に分かれ、班ごとにとりまとめを実施しました。

5. 参加者へのアンケート結果（抜粋）

参加者へのアンケート結果によると、今回のイベントへは、広島湾再生行動計画の取り組みや、広島湾の保全・再生に興味があり参加された方が多いとの結果が得られました。また、イベントを通して、森・川・海の繋がりの重要性や取り組みの必要性、広島湾再生行動計画の内容については、ある程度理解できたとの回答が、参加者全員から得られました。



今回のイベントへの参加動機

森・川・海の繋がりの重要性や取り組みの必要性を理解できたか？

「広島湾再生行動計画」に対する理解が深まったか？

参加者へのアンケート結果（抜粋）